

【受賞報告】神経解剖・細胞組織学講座 助教 齊藤絵里奈
先生が日本解剖学会第70回東北・北海道支部学術集会にお
いて学会賞（優秀発表賞）を受賞しました

2024年9月7-8日に開催された日本解剖学会第70回東北・北海道支部学術集会において学会賞（優秀発表賞）をいただきました。この賞は参加者投票により選ばれる賞なので、発表をご覧になった多くの先生方に興味を持っていただけたことを大変嬉しく思っております。

発表タイトルは「両生類アカハライモリにおけるリンパ経路の系統発生的解析」です。私たちは現在「脊椎動物の進化の過程でリンパ管系がどのように確立されたか」という疑問を解くべく系統発生的観点からリンパ管系について研究を進めており、本研究では水棲から陸棲への変化が起こり始める両生類に着目しました。リンパ経路を描出するためイモリの皮下と腹腔に色素を注入したところ、腹腔に打った色素が非常に短時間のうちに総排泄口から排出されてしまったため集合リンパ管系が描出できませんでした。その原因を探る過程で連続切片を注意深く観察した結果、腹腔と腎臓を直接つなぐ管状構造を発見し、その上皮細胞の線毛運動により腹腔内に打った色素粒子が腎臓内へと直接運ばれていることが明らかになりました。本来この経路は腎臓の発生初期（前腎）に出現し、中腎へ移行するにつれて消失しますが、イモリでは永久腎として中腎が

機能している成体までこの構造が残存し、漿膜系のリンパ経路として機能していることが示唆されました。この構造が脊椎動物の陸生適応にどのように関与するかはまだ不明ですが、今後さらに研究を進め考察を重ねてまいりたいと考えています。

今回の発表内容は二人の研究室研修生、16Mの古川結香さんと20Mの宮崎理紗さんと共に行った研究をまとめたものです。二人は研究室研修中の非常に短い期間に精力的に実験を行ってくれました。改めて感謝いたします。また豊富な知識と鋭い視点から本研究のご指導、ご助言をくださいました岩手医科大学の磯貝純夫先生と当講座の下田浩教授、諸先生方に深く感謝いたします。



(左から) 齊藤絵里奈 助教、下田浩 教授